



<http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/>

## 6月号 第250号

発行日 平成24年6月1日(金)  
発行所 八王子囲碁連盟  
住所 八王子市台町3-22-1-121  
TEL (042) 625-9529  
発行人・三上 靖宏  
編集者・山縣 文雄

### 八王子囲碁連盟の目的

八基連は、八王子市内に居住する囲碁愛好者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるよう機会を提供し、福祉の増進に寄与するとともに、棋力の向上を図ることを目的とする。

## 囲碁のある生活

恩方囲碁同好会会長 吉澤 実

定年退職したら、その後の長い人生をどう生きるか、退屈しないで充実した毎日を送るためには趣味を持った方が良くといわれる。そして、例として囲碁がよく持ちだされる。

その理由として、**1**・単純な用具を使い簡単なルールで遊ぶゲーム。面白くて味わい深く、いつまでも飽きない。**2**・子供から老人まで、二人で楽しめる。**3**・人間関係が広まり、円滑になる。**4**・ゲームに勝てば勝利感と満足感が味わえるし、負けても忍耐力や向上心のバネとなる。**5**・物事に対する集中力や思考力が養われる。**6**・記憶力が増進され、応用力が培われる。**7**・右脳を使うので頭のスポーツとして最適、余暇活動や生涯教育の目玉となり、ボケ対策や脳の病気の有力な治療対策の一つとなる。**8**・国際交流に最も適切なゲーム。民族、国籍、言語、性別に関係なく楽しみ、友情が深められる。**9**・天候や寒暖に左右されず、場所を得やすい。**10**・損得に関与しないし、費用があまりかからない。このようなことで、私自身も囲碁に大変魅力を感じている。と、実は、今年の10月から60歳以上の男女20名に「入門囲碁教室」で教えている。最初にレジメとして配布した内容の一部をここにあげたのである。

囲碁教室での講義内容は五ヶ月間で9回にわたり、九路盤で教えたことである。ほとんどの人が囲碁が初めての人たちであり、家に碁盤も碁石も持たない人が多く手探り状態の講義であった。4回目から実戦を始めた。生きている石か、死んでいる石か、よくわからないと言いながらも、生きいきとした表情にかわり教室がにぎやかになってきた。私のほっとした瞬間であった。

今年の2月、予定の回数が終了した。このまま終わっては、本当の囲碁の面白さを理解できないのではないかと、そんな心配がふとよぎった時、一人の受講生から、私が幹事を引き受けるので、引きつづき教えてほしいとの依頼があった。「囲碁がなかったら人生ちっとも面白くない」と思っている私に

とって少しでも多くの人たちに囲碁を楽しんでもらいたいとお引き受けした。今、十九路盤になり18名の人たちに囲碁の楽しさを伝えるのに悪戦苦闘しながらも、私自身楽しみながら教えている。

## 第22回 活いき囲碁大会のご案内

### 大和田大会

日時 平成24年7月1日(日) 受付 午前9時00分～9時30分  
会場 大和田市民センター(大和田町5-9-1 Tel 645-8980)  
申込先 会長・井出 道明 大和田町7-17-6 Tel・Fax 644-7417  
申込期限 6月17日

自家用車でのご来場はご遠慮ください。

### 石川大会

日時 平成24年7月15日(日) 受付 午前9時00分～9時30分  
会場 石川市民センター(石川町438 Tel 642-0220)  
申込先 会長・松本 健彦 久保山町2-33-16 Tel・Fax 691-8343  
申込期限 7月1日

### 2大会とも

主催 各地区の囲碁同好会  
後援 日本棋院 八王子市 八王子市教育委員会  
参加資格 市内に居住している囲碁愛好者  
参加費 700円(弁当代を含む) 非会員 800円  
競技方法 2ないし3のクラス別に行い、入賞者には賞品を進呈します。  
申込方法 できるだけ同好会の会長を通して申し込んでください。

## 第22回 活いき囲碁恩方大会の結果

5月20日(日) 於 恩方市民センター

参加者

恩方	浅川	元八	中野	大和田	石川	台町	北野	長房	川口	非会員	合計
26	8	3	1	6	3	1	2	7	10	7	74

第1組 18名（5段～7段）

優勝：中台 博 非会員/7段 準優勝：若穂田廣志 川口/7段 3位：山本数英 川口/6段

第2組 20名（4段、5段）

優勝：佐藤裕久 恩方/5段→6段 準優勝：高取民治 川口/4段 3位：野沢市郎 恩方/4段

第3組 18名（2段～4段）

優勝：長谷川幸二 恩方/3段→4段 準優勝：長澤勝美 川口/3段 3位：中村千秋 浅川/3段

第4組 18名（初段以下）

優勝：秋山正 恩方/初段→2段 準優勝：芦沢靖彦 長房/3級 3位：長谷山敏幸 大和田/1級

## ◎地域ふれあい囲碁教室の報告

中野囲碁同好会 望月毅士

中野市民センター館長の発案で、三浦浩アマ八段（日本棋院5人目の八段）を講師に迎えて、2月29日から、4回 地域ふれあい囲碁教室は開催されました。初日の2月29日は雪が降り、延期となり、追加日が設定されるハプニングもありました。

主催は財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団でした。多くの市民センターの中で、5センターで特徴を出した、イベント（横山南：布ぞうり作り、北野：新聞紙使ったエコバック作り、由木中央：目籠づくり、元八王子：詩吟教室と中野の囲碁）を開催することになり、中野市民センターではアマ本因坊を獲得した、中野山王在住の三浦浩八段を講師にして囲碁をすることになったそうです。昨年未から、三浦浩八段、ふれあい財団の小泉、中野市民センター松本館長、中野地区住民協議会会長の浜道、八王子碁楽連の磯部会長と私で相談して、講義内容を検討しました。囲碁教室は、経験者コースと初心者コースを設定しました。

初心者コースは、小学校の生徒を対象にしましたが、大人7人の参加者でした。関西棋院から、9路盤を100組、三浦浩八段が調達し、それを使っての実践と講義でした。講師は中野囲碁同好会の浜道四段と中村三段が担当しました。9路盤は教室が終了した後、お土産に渡しました。その後、活用しているかは不明です。

経験者コースは、18名の参加者で、三浦浩八段の指導碁を中心に、碁の考え方、石の重み、本因坊秀策の囲碁十訣の解説、三浦浩八段の棋譜等でした。棋譜（鶴丸敬一七段 対春山勇九段）解説では、布石はこのみ、星は戦いに強い石、小目は地を得る、小目はしまりが大きい、広い方からかかる、四線を押すのは良くない、2線は負け線、止めるうち方などを実例として話されました。指導碁は約1時間の4面打ちで、個々にその碁の良し悪しの指摘を受けました。

今年の八王子碁楽連盟の総会で、名称変更、年齢制限の撤廃、碁力の向上が上げられています。碁力向上を図るため、今後も三浦浩八段の囲碁教室が開催できたら、いいなと感じました。

# 投稿

## 天井ばかりみていては

長房同好会 池口 隆久

妻の99歳になる母を見舞いに、老人ホームへ月に一度出かける。船橋から東武線とバスとを乗りついでいく。高尾の自宅から3時間の小旅行である。交通費節約のために京王線と都営地下鉄を利用するので時間はかかるが、急ぐことはない。のんびりしてよい。本を読むにはうってつけである。加齢のためか、近ごろ背骨がだいぶ傾いてきた妻は「おばあちゃんより、こちらの方が参ってしまうよ」とぼやく。母は「いい加減に決まりがつかないかね」と他人事のように言っているが、老人ホームは、食事は栄養面を考慮してあり、温度管理を含め環境はよい。まだまだ決まりはつきそうもない。

その母が、去年の暮れに何かのはずみで、足首を骨折してしまった。なんでも車椅子に乗り換えるときにうまく行かなかったらしい。医者からは当分の間（2週間）は安静にと言い渡され、施設のスタッフから鄭重に見張られ世話されている。したがって、2週間は、ベッドに寝たきりの生活が続いている。先日の見舞いでは「毎日天井ばかり見ていては飽きてしまうよ」と娘に訴えていた。

たしかにそうであろう。天井ばかり見ていては、つまらないし刺激は少ないし、こんなつまらないことはあるまい。それだけでなくとも趣味の少ない人である。たまにテレビを見るくらいで、読書もしない。月に一度の娘の来訪を待ちかねている人である。週にいちど来てくれる、同じ千葉に住む長男（66歳）とその子供たち（孫）とは普通に会話はしているらしいが、連絡ノートをたよりにして、おばあちゃんに聞いてみると「そんなことあったっけね」とけろりとしていることもある。やはり、母親は息子とよりも娘の方が話は合うらしい。息子が来てくれても、余り印象には残らないらしい。最近では、妻と一緒に行く私の存在も気になっただけで、「妻の歩き方がたどたどしいので心配してついでくるのかね」ときいてくる。まだまだまともである。決してボケていない。

しばらく入院していたり、ベッドに寝たきりの生活をしてみると分かるのだが、自分の脚で歩いていきたいところへ行けること、それはなんと幸せなことかと思う。普通に歩けることが、じつは大変なことなのである。ロボットにとって、正座をしたり、ジャンプしたり、歩いたりするのが、じつは大変なことなのである。ロボットの開発者は、ロボットにこれらの動作をさせるのに大変な苦勞を強いられるのである。本当に、人間の体はよくできた精密機械である。この機械は、動くのを怠ると、すぐに動きが悪くなる。怠るとときめんに不具合が生じてくる。したがって、適度に運動し、しかもたえず動かし続けたいといけない。また動きすぎてもいけない。消耗が激しくても、不具合が発生する。

動きすぎるのを自ら戒めるために、私は「晴耕雨読」を実践していこうと心がけている。つまり、雨が降らなければ高尾山に登り、雨が降っていればうちで何か本を読む。これが私の晴耕雨読である。

天井を見たきりの生活はしたくない。それは人生の拷問である。

## 喜怒哀楽の日々

浅川同好会 池田 悟

気温が20℃を超えると桜花は、それとばかりに咲き爛漫を告げ、人々はこの自然の恩恵に浸る。我々八基連に所属する者は高尾山の近郊に住む人達が殆んどであり毎年楽しんでおられると思います。私の居住地は校庭や川沿いの桜で十分楽しめます。少し歩を伸ばせば都民憩いの高尾山始め恰好の場所が多くあり、草花・俳句・短歌等に興ずる方なら嬉しさも倍加されるでしょう。私も今迄は昔馴染みと酒肴を楽しんで来ましたがみんな高齢となり都内での交流は数える程しかありません。

“短気は損気”と言いますが事と次第によっては怒る事も必要と思う。街を歩いたりバスに乗ったりの中でも怒りたい事が沢山見受けられる。国会内でも無鉄砲に怒鳴ったり野次る議員も結構見られるが、果たしてここ一番の原発をどう解決するか、その廃棄物の処理方法と対策は、或いは領土に拘わる国際的な水問題、農業政策等々は、税と社会保障改革の一体化や、消費税率を上げる事よりも大切であると思います。

“哀”については国語辞典によれば日本で古くから受け入れられた外来語としての中国語で文章語として用いられるとありました。その故か表現しづらく悲哀を報ずる事が多いようである。最近のニュースで30歳の若者が筋肉が衰え機能が低下する難病と闘い乍ら書道界最高の栄誉に浴した映像を目にしました。「生を極める」というテーマで、生ある限り取り組む姿勢に感動をいただきました。絵やスポーツ・文学・工芸等の同じ境遇に在る方や一般の生活者にも大きな福音となるでしょう。

3月24日

研修部の納会に出席し各資料の説明と24年度の活動計画の確認がなされた。又、役員会では名称の変更が話し合われたようですが組織が大きくなるにつれ起こり得る事と思います。これからも会と会員のためご尽力くださる事を念願しております。一つだけ申し上げさせて貰えば、楽の一字が消えたことで一抹の寂しさはありました。

3月16日

朝日新聞社によるプロとアマの“日本一決定戦”がありました。

プロ側 山下敬吾名人      アマ側 洪 爽義 (ホン ソンギ) 名人  
結果は山下名人が勝利しました。

対局後、山下敬吾氏は中盤までの洪さんの打廻しに賛美を贈り終盤での一手損を打たなければ白に勝はないと言っていました。私も観戦に行き本当によき一日でした。そして洪さんの無念さを痛感させられました。余白をお借りしました。

“諸々を背中に担ぐ、この人生

良きも 悪しきも 心成りせば”

## 春や花やら 碁老人

北野同好会 刀根正樹

「梅の香や 黙祷の声 石落し」

「白梅よ 石の悲しみ 知るや君」

「白梅に 石の重さを たずねたり」

うぐいすが鳴いていた。長く厳しい寒さの冬であった。梅もようやく満開である。3月11日。北野市民センターで定例の囲碁会が行われていた。「黙祷」という絶叫が突如起こった。泣くがごとく、うめくがごとく。津波に子をさらわれた親の叫びかと思った。私は碁石を取り落した。それほどこまでも床をころがって行き、見えなくなった。

「心しむ 野口みずきの 涙かな」

「紅梅も 女子マラソンを 応援し」

名古屋女子マラソン。ロンドンへの選考レースである。私の目は野口みずきに釘づけになった。アテネ五輪の金メダリスト。その後いばらの道が続き、復活をかけた。

野口はずっと先頭を走り続けた。17kmで遅れ始め、24秒ほど先頭から離された。テレビ画面に点のような小さかった野口の姿が、気のせいかわ少しづつ大きくなり、次第に近づき、ゴジラのようにでかくなった。28kmでついに先頭に躍り出たのである。「すばらしい走り変わった」とアナウンサーが感激した。結局6位でゴールし号泣した。「走り切れて、うれしかった。」と言った。私には野口の幸福感が痛いほどわかった。私も囲碁にずっと情熱を抱き、ここまで走り続けて来たのであった。

「桜咲き 静御前の 夢の舞」

「吉野山 千本桜の 愛の果」

上野の山で友人と花見をし、酒をくみかわした。桜の花が手の届く近さに満開である。「吉野の千本桜もかくあらん。来年もこうして旧交をあたためたいな」

西郷さんの銅像の下のビルに碁会所がある。私は白を持ち、黒をズタズタに破った。「ヒヨドリ越えの逆落としか。君は義経の生まれ変わりか」

八王子に帰り、北野天神で一人花見をした。「落花の雪に踏み迷う、北野の花の桜狩りか」神楽の舞台上で、白衣の美女が舞っている。「吉野山 嶺の白雪踏み分けて 入りにし人の 跡ぞ恋しき」「しづやしづ 賤のおだまき繰り返し 昔を今になすよしもがな」

私は目をぬぐった。静御前ではないのか。彼女は私を見詰めていたが、やがて音もなく消えた。

酔いはさらにまわり、浅川の堤防の上を私はさすらった。かつて桜の名所であったが、多くは切り取られ、わずかに残った木が花を咲かせていた。ふと視線を感じた。河原に白鷺がいて、私をじっと見詰めていた。それは静御前の目であった。その鳥はしばらくそこにいたが、ふと羽ばたき、一声うれしそうに鳴き、西の空に静かに飛び去って行った。春のはかない夢であった。

「女子ゴルフ いづれアヤメ カキツバタ」

「藍チャンに あこがれ プロの 花が咲く」

今年は若い美女の当たり年とか。第一戦の沖縄。シンデレラの登場である。斉藤愛璃。新人プロ。ビジュアル系の美人。優勝して、テレビ、スポーツ紙、サイン会にひっぱりだこの人気者になった。

第二戦の高知は、韓国の超人気の美姫、イボミ。愛称スマイルキャンデー。第四戦の静岡は笠リツ子。第六戦熊本は若林舞子。いずれも若く美しい。ベテランの横峯さくらなどは、どうしたのか。

4月22日、ハワイで宮里藍がアメリカツアーのロッテ選手権で8度目の優勝をし、歓喜のフラダンスを踊った。同日、川奈の富士コースで、小柄な山形美人が勝った。大江香織。幼い頃から藍ちゃんをテレビで見てあこがれた。7歳からクラブをにぎり、コースに出た。藍の出身高の東北高校に進学。ナショナルチームにも選ばれた。卒業後プロ一発合格。3年目22歳で、川奈で初優勝をした。苦楽をともにした母は号泣したが、本人は笑っていた。「藍先輩と世界の舞台上、優勝あらそいすることが夢です。」その笑顔は、しあわせにあふれていた。よき先輩は、すばらしい後輩をはぐくむと感動した。

「アジサイや 碁に負けたどる 道に咲き」

子規の句に「碁に負けて たどる恋路や 春の雨」というのがあるが、今の私の恋路は、市民センターを後にしてわが家にたどる道であろう。ここには四季折々さまざまな花が咲く。梅雨の中に優雅なほほえみを見せるアジサイには、歴史上の女性の面影を見る。

細川ガラシャ夫人。明智光秀の娘で、玉と呼ばれた絶世の美女であった。細川忠興の妻になる。光秀が主君の織田信長を本能寺で殺した。彼女は逆臣の娘となり、以後は苦難の道を歩み、クリスチャンになり、救いを求めた。時は流れ、関ヶ原の戦いがあり、石田三成は人質作戦に出た。キリシタンの細川ガラシャは、辞世を残し、老臣の槍で天国へ旅立った。

「散りぬべき 時知りてこそ 世の中の 花は花なれ 人も人なれ」

石の死活を学ぶ私には、胸にひびく歌だ。

「死ぬるべき 時知り手こそ 盤上の 石は石なれ おれもおれなり」

この春は、花が一段と美しく見えた。桜を見て散った神風特攻隊の心が、ようやく判るようだ。私の死期は近づきつつあるのか。

「刀根さんは、長く生きてください。私の分までずっと」 アジサイがほほえんだ。桜のように散り急がず、梅雨の中をその花はしぶとく咲き続ける。それはガラシャ夫人の生きざまを語っている。私もまた碁の中にアジサイのような生命力を求めたいと思った。

## ◎第2回八碁連理事会報告

日時 平成24年4月28日(土) 9:00~12:00

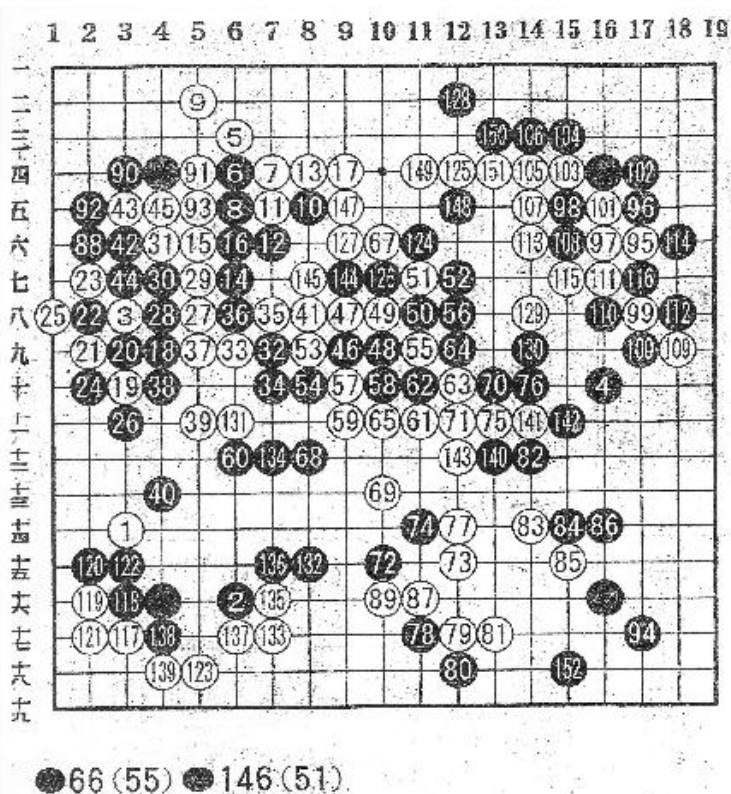
出席者 理事6名

- 議案
1. 実行委員会メンバー、役割・実行委員会開催日等についての報告。  
実行委員会には理事会から三上会長、信江副会長が出席する。
  2. 年間スケジュールの確認。
  3. その他八王子囲碁連盟印鑑作成、ホームページの更新等。

## ◎プロとコンピューターの対局 4子局

将棋の世界ではすでにコンピューターがプロ棋士に勝っていますが、囲碁ではまだまだ相手にならないと言われてきました。ところが最近囲碁ソフトの進化が急速で、とうとうプロに四子置いて勝つまでになりました。その棋譜を味わってください。

武宮正樹九段 対 囲碁ソフト「Zen」 棋譜は152手まで。 黒19目勝ち。



編集後記 400年の歴史を持つ本因坊戦が京都の寂光寺からスタートしました。本因坊道吾33歳、挑戦者井山裕太22歳。なんとも羨ましい若さですが、我々も負けずに精進しましょう。